

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) アルフレッサ ファーマ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 540-8575 大阪府大阪市中央区石町二丁目2番9号	
本票作成	部署名：サプライチェーン本部 岡山製薬工場 製剤部 工務課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	医薬品、診断薬、医療機器、医薬品原料等の製造・輸入・販売 従業員数：988人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山製薬工場		岡山県勝田郡勝央町太平台18番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 28 年度)	(令和 元)年度排出量	目標年度(令和 元 年度)
	8,285 t CO ₂	6,629 t CO ₂	7,700 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 元) 年度排出量
	①	岡山製薬工場	6,629 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 29 年度 ～ 令和 元 年度 (3 箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(元) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	21.3 %	10.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(元) 年度	目標年度
		14.105 t CO ₂ /(t)	11.100 t CO ₂ /(t)	12.700 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 元 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

令和元年度は、電気受給契約を中国電力から関西電力へ変更することにより、排出係数の低減となりCO2排出量を大幅に低減することができた。
 その他もほぼ計画通りの取り組みができた。

【推進体制】

省エネ推進を含む環境会議を開催しエネルギー使用量の抑制を図る。
環境パトロールにより省エネ対策実施状況の確認・指導を行う。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山製薬工場	<p>(令和元年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FEMSの導入 ・ 電気受給元の変更 (CO2削減量1842t/年) ・ 吸収式冷凍機冷却水ポンプインバータ化 (CO2削減量63t/年) ・ 温水循環ポンプのインバータ化 (CO2削減量16t/年) ・ 残業休日出勤の統一と抑制 (CO2削減量129t/年) ・ 照明設備のLED化 (CO2削減量2t/年) ・ エコキャップ運動 (全社でCO2削減量0.378t/年) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空調機改善 (小規模製造での全体空調及び夜間空調の見直し) ・ 吸収式冷凍機冷却水ポンプインバータ化 (CO2削減量63t/年) ・ 燃料転換A重油⇒LNG (CO2削減量1500t/年) ・ 照明設備のLED化 (CO2削減量2t/年) ・ 設備専用エアータンク設置による圧空供給圧力の改善

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	「企業と協働の森づくり」事業活動 (CO2削減量8.22t/年)
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--